

© 2016, Keiichi Kubo, Kota Suechika, and Yuriko Takahashi.

# 『比較政治学の考え方』

久保慶一・末近浩太・高橋百合子／著

**教科書・概説書案内**

発行所 有斐閣

2016年3月10日 初刷発行

ISBN 978-4-641-15031-7

© 2016, Keiichi Kubo, Kota Suechika, and Yuriko Takahashi.

Printed in Japan.

## 教科書・概説書案内

---

\*【 】はその書籍で取り上げられている主なテーマ。

### 岩崎正洋『比較政治学入門』勁草書房，2015年。

主に民主主義の先進国を対象とした比較政治学の基本テーマを扱った入門書である。テーマ別に構成された各章では、学説史のスタイルを取りながら「最低限」知っておくべき知見を紹介しており、欧米諸国を事例とする比較政治学に関心を抱いた学部生が最初に手にするとよい一冊である。

【政治システム，政治発展，政治文化，政治体制，民主化，民主主義，選挙，政党，政党システム，大統領制と議院内閣制，政策過程，ガバナンス】

### 粕谷祐子『比較政治学』ミネルヴァ書房，2014年。

因果関係を明らかにする理論の解説を主眼として、比較政治学の主要なテーマについて古典から最新の研究成果までの重要な研究成果を紹介している。第Ⅰ部「国家と社会」、第Ⅱ部「政治体制」、第Ⅲ部「民主主義の多様性」の3部構成をとる。学部3・4年生を対象とした、やや上級者向けのテキスト。

【国家建設，市民社会，ナショナリズム，内戦，政治体制としての民主主義，民主化，民主主義体制と政治文化，権威主義体制の持続，選挙制度，政党と政党システム，執行府・議会関係，福祉国家】

### 建林正彦・曾我謙悟・待鳥聡史『比較政治制度論』有斐閣，2008年。

制度論の視点から、さまざまな政治制度の定義や類型を説明し、政治制度を規定する要因や、それがもたらす政治的帰結に関する重要な知見を紹介している。基本的に民主主義体制をとる国々の比較が想定されており、具体的なテーマを扱うすべての章で日本に関する節が最後に設けられている。政治制度の違いという視点から、民主主義体制をとる国々の内部に存在する多様性と、その中での日本の特徴を理解するのに最適の一冊である。

【制度論，選挙制度，執政制度，政党制度，議会制度，官僚制，司法制度，中央銀行制度，中央・地方関係制度】

### スティーブン・R. リード『比較政治学』(MINERVA 政治学叢書4) ミネルヴァ書房，2006年。

主に民主主義が定着した欧米諸国の選挙と政策にかかわるテーマを扱っている1冊。日本流の「階段」ではなく、アメリカ流の「地図」の発想を採用した比較政治学のテキスト。

トとして、知識の全体像を示したうえで、読者が自らの関心に従って学びを進められるように工夫がなされている。第Ⅰ部は選挙、第Ⅱ部は政策を扱い、第Ⅲ部ではイギリス、ドイツ、イタリアの民主主義をめぐる戦後史の比較がなされている。

【選挙と選挙制度、投票行動、政党と政党制、移民・少数民族問題と右翼政党、宗教と政治、政治腐敗と政治改革】

岩崎美紀子『比較政治学』（岩波テキストブックス）岩波書店，2005年。

民主主義の概念、形態、統治原理について説明した後、統治権や政治制度について、比較の視点から類型化を行い、各タイプについての紹介が続く。政治学における基礎知識を提供することにとどまらず、比較政治学の方法やリサーチ・デザインについても丁寧な説明がなされ、読者が実際の分析に活かせるように工夫がされている。世界に存在する民主主義の主要な形態について学習するのに、有益なテキストである。

【民主主義、君主制と共和制、立法権と行政権、連邦主義と単一制度、比較政治学の方法論】

新川敏光・井戸正伸・宮本太郎・眞柄秀子『比較政治経済学』有斐閣，2004年。

政治と経済のかかわり方を扱う政治経済学について、政治学の立場から書かれた、比較政治経済学を学ぶうえで必須のテキストである。政治と経済の結びつきについて、学説史を概観した後で、経済体制の変化、政治体制、政治制度が、福祉国家のあり方、マクロ経済政策、経済現象にどのような影響を与えるか、代表的な研究に焦点を合わせつつ紹介している。政治学についてある程度の知識を習得してから読むことをお勧めする。

【戦後和解体制、戦後政治経済体制、レジーム、コーポラティズム、福祉国家、拒否権プレイヤー、公共政策、政策決定、政治体制と経済成長】

河野勝・岩崎正洋『アクセス 比較政治学』日本経済評論社，2002年。

国別や地域別ではなく、理論ごとに比較政治学の基本的な考え方を概観するのに便利なテキストである。第Ⅰ部「比較政治学の系譜」では、それぞれの理論についての歴史的な発展過程と主要な論者の議論が丁寧に整理されている。これを踏まえ、第Ⅱ部「比較政治学の新展開」では、1990年代以降に注目されるようになった理論が紹介されている。

【政治体制論、政治文化論、政治社会論、政治発展論、政治変動論、新制度論、集合行為論、逆第二イメージ論】

小野耕二『比較政治』（社会科学の理論とモデル 11）東京大学出版会，2001年。

比較政治学における主要なアプローチとして構造主義、文化主義、合理主義に着目し、3者の特徴と欠陥を踏まえ、それらを統合する包括的な理論的枠組みを提示することを試みている。具体的なテーマは社会運動論、制度論に絞られている。比較政治学におけるア

アプローチの特徴や違いについてより深く理解したい読者にお勧めしたいテキスト。上級者向け。

【比較政治の理論状況，社会運動論，合理的選択論，新しい制度論】

**Carles Boix and Susan C. Stokes eds., *The Oxford Handbook of Comparative Politics*, Oxford University Press, 2007.**

比較政治学の方法論，国家形成，ナショナル・アイデンティティ，民族性と民族紛争，民主化，革命，内戦，政党システム，投票行動，クライアンテリズム，選挙制度，司法政治，連邦制，政府形成，福祉国家，アカウントビリティなど，幅広いテーマについて，各分野の第一人者が古典から最新の研究までを紹介している比較政治学ハンドブックの決定版。全8部・38章に分かれており，頁数は合計で1021頁にも及ぶ。比較政治学の多様なテーマに関する理解を深めるのに最適の一冊である。

【第1部：導入，第2部：理論と方法論，第3部：国家と国家形成，第4部：政治体制と移行，第5部：政治的不安定と政治的紛争，第6部：大衆の政治動員，第7部：政治的要求の処理，第8部：比較の視座からみるガバナンス】

**Margaret Levi, Simon Jackman, and Nancy Rosenblum, *Annual Review of Political Science*, Annual Reviews. 各年号。**

1998年以降，毎年出版されている政治学研究の年鑑である。各年，20～25程度の重要なテーマに焦点を絞り，各テーマの第一人者がその研究動向を幅広く紹介している。現在，政治学において注目を集めているテーマや，それについての最新の研究動向を知るために役立つ，上級者向けの一冊。

【2015年度年鑑には，選挙制度と投票率，機能不全に陥った議会，「資源の呪い」再考，移行期正義における法と政治，国際関係研究における実験的手法，比較政治理論の射程，所得格差と政策の応答性，などのテーマが含まれる。】

**Mark Irving Linchbach and Alan S. Zuckerman, *Comparative Politics: Rationality, Culture, and Structure*, second edition, Cambridge University Press, 2009.**

比較政治学における主要なパラダイム／アプローチとして構造主義，合理主義，文化主義（構成主義）に着目し，さまざまな分野で活躍する比較政治学者が，各アプローチの特徴やその近年の進展，さまざまなテーマにおけるアプローチ間の論争・対話について解説している。1997年に刊行された本書の第1版は，小野（2001）の着想源となった。比較政治学におけるアプローチの特徴や違いについてより深く理解したい読者は，小野（2001）と併せて読むことをお勧めする。

【比較政治学のパラダイム，構造主義，合理主義，文化主義，国家論，政治経済学，国際と国内のリンケージ，争議の政治，政治的ネットワーク，大衆政治行動，制度

論, 福祉国家, 民族性】

**G. Bingham Powell, Jr., Russell J. Dalton, and Kaare W. Strøm, *Comparative Politics Today: A World View*, 11 th edition, Pearson, 2015.**

版を重ねて出版されている, 英語で書かれた政治学の初学者向けのテキスト。一国の政治を一つのシステムとしてとらえる見方を踏襲しており, 第1部: 導入部, 第2部: システム・過程・政策, 第3部: 各国の事例, と三部構成をとっている。政治学の基本知識を習得しつつ, 先進諸国 (米国, イギリス, フランス, ドイツ, 日本) および新興国 (ロシア, 中国, メキシコ, ブラジル, イラン, インド, ナイジェリア) の政治システムの特徴を学習することができ, 世界の多様な政治システムを網羅的に理解するために役立つ一冊。英語で比較政治学を勉強してみたい意欲的な学生に, ぜひ一読をお勧めする。

【政治システム, 政治文化, 政治的社会化, 利益表出, 利益集約, 政党システム, ガバナンス, 公共政策】